



就業体験の成果を報告する学生Ⅱ2号館

## 就職に向け自覚新た

### 大学・短大でインターンシップ報告会

金沢学院大・同短大のインターンシップ(就業体験)報告会が9月17日、2号館で開かれまし  
た。大学3年生と短大1  
年生の合わせて62人が  
業務を体験して感じたこ  
と、学んだことについて  
1人当たり3分間で発表  
し、就職に向けて自覚を  
新たにしました。

インターンシップは8  
月上旬から9月中旬ま  
で、北陸3県を中心に37  
の企業で行われました。  
学生らは就業体験から  
得たことに触れ、「あいさ  
つや笑顔の大切さを知っ

た」「人前で話をするこ  
に抵抗感がなくなった」  
「人事課長から『就職試  
験の面接では、ぜひ働き  
たい、との熱意を見せる

ことが最も大事」とい  
う助言を受けた」などと述  
べました。  
報告を聞く教授らか  
ら、学生の言葉遣いや声  
の大きさなどに対する助  
言や、報告内容について  
の質問がありました。

### 「武士の家計簿とその時代」探る

#### 金沢学院大リレーシンポジウム

金沢学院大リレーシン  
ポジウム「武士の家計簿  
とその時代」幕末維新を  
生きた家族の物語を読む  
」の第1回Ⅱ写真下Ⅱ  
は9月11日、金沢市の北  
國新聞会館20階ホール  
で開かれました。同大教  
授ら4人が映画「武士の  
家計簿」で描かれる猪山  
家をはじめ加賀藩士の暮  
らしぶりを紹介し、「武士  
の第一義は家を存続させ  
ることだった」と武士の  
精神性を解説しました。



第1回は「武士らしく  
あるために」がテーマ。  
東四柳史明教授が進行役  
となり、見瀬和雄教授、  
江森一郎教授、石崎建治  
准教授、宇佐美孝非常勤  
講師がパネリストを務  
め、加賀藩士の生活実態  
や仕事などを説明しまし

た。  
シンポジウムは映画  
「武士の家計簿」が12月  
に全国上映されるのを記  
念して開かれました。全  
3回で次回は10月23日  
に「百万石城下町金沢の  
暮らし」をテーマに開か  
れます。

### 地域資源をビジネス化

金沢学院大経営情報学  
部の公開講座Ⅱ写真左Ⅱ  
は9月18日、2号館で開  
かれ、経営ビジネス学科  
の山川英明教授が「身近  
な地域資源の発見とその  
ビジネス化」と題して講  
演しました。

山川教授は、世界の留  
学生が交流する「JAP  
AN TENTS」について  
「石川にしかない人が  
集まる仕組みであり、使  
いようによっては世界に  
名を売る資源となる」と  
指摘。また、地域資源は  
地域の人々がコミュニケ  
ーションを交わす中で発  
見できる、と強調しまし  
た。

### 厳しい就職環境を再認識

#### 大学・短大で初の全学保護者懇

金沢学院大・同短大の  
保護者懇談会は9月18  
日、同大で開かれ、保護  
者約200人が厳しい就  
職環境を再認識し、大学  
の就職支援策などについ  
て理解を深めました。

就職支援センターの担  
当者が、インターネット  
で就職関連情報を配信す  
るシステムや学内で開く  
合同企業説明会、就職試  
験対策講座などについて  
説明しました。この後、  
保護者は各学部の教員と  
個別面談し、学生の学習  
状況や学生生活などにつ  
いて尋ねました。



教員と個別面談する保護者＝3号館



さらに地域資源を再発  
見し、活性化に結びつけ  
ている各地の例を挙げな  
がら、地域が協働して自  
立を目指す仕組みづくり  
を説明しました。